

# 令和5年度 岐阜県中学校総合体育大会 第63回 ハンドボール競技大会

- 1 期 日 令和5年7月29日(土)・7月30日(日)
- 2 会 場 OKB 岐阜清流アリーナ 1日目 2面(38m×20m) 2日目 1面(40m×20m)
- 3 大会役員 (県大会に出場するチームが決まってからうめます)
- |        |             |                         |
|--------|-------------|-------------------------|
| 会 長    | 古田 隆洋(境 川)  | [岐阜県中学校体育連盟会長]          |
| 競技部長   | 小川 和彦(羽島中央) | [岐阜県中学校体育連盟ハンドボール専門部長]  |
| 競技委員長  | 望月 亮太(各中央)  | [岐阜県中学校体育連盟ハンドボール専門委員長] |
| 競技副委員長 | 福田 竜也(鵜沼)   | 酒井 新司(星 和) 石原 敬大(中 山)   |
| 審 判 長  | 萩原 圭介(各中央)  |                         |
| 審 判 員  | 森 裕太(協 会)   | 各務 宗孝(協 会) 日比野起年(協 会)   |
|        | 山下 祐輝(協 会)  | 萩原 圭介(協 会) 柳原 昂平(協 会)   |
|        | 岡田 涼祐(協 会)  | 悪七 隆宏(興 文) 新井 拓海(協 会)   |
|        | 畑中 寛之(協 会)  | 望月 亮太(協 会) 傍島 章勝(協 会)   |
|        | 鷺見 一真(協 会)  | 他 岐阜県協会審判員              |

オフィシャル

救 護  
受付・会場

記録・浄書  
救護補助

- 4 競技規則 2023年日本ハンドボール協会競技規則に準ずる。
- 5 参加資格 各地区大会で選抜された男女各9チーム(1チーム15名)
- 6 競技方法 大会1日目 予選トーナメント  
大会2日目 勝ち抜いたチームによるリーグ戦  
(大会2日目の組み合わせは、監督者会議時に抽選をする。)
- 7 審判員 岐阜県ハンドボール協会審判委員会に委嘱する。
- 8 表彰 優勝 賞状・優勝旗(持ち回り)・メダルを与える。  
2位 賞状・準優勝盾(持ち回り)を与える。  
3位 賞状を与える。

## 9 申合せ事項

### ○ 試合の仕方について

- (1) 予選トーナメントは、競技時間を 25 分－10 分－25 分とし、チームタイムアウトは、前後半 1 回ずつとする。また、同点の場合 5 人の 7mTC を行い、勝敗を決定する。決勝リーグは、競技時間を 25 分－10 分－25 分とし、チームタイムアウトは、正規ルールと同様に取得することができる。
- (2) 決勝リーグ戦では、競技時間終了時に同点の場合は引き分けとする。
- (3) 次の結果で順位を決定する。①勝ち点、②得失点差、③総得点差 ④該当チーム同士の試合結果、⑤該当チームで 7mTC を実施する。勝ち点については勝利チームに 2 点、引き分けの場合両チームに 1 点、敗北チームに 0 点とする。
- (4) 試合時間はデジタイマーを使用し計時する。時計は加算式とし、退場の場合もデジタイマーを使用し計時する。
- (5) 得点の表示は校名を後半のコートサイドに合わせて掲示する。前後半で掲示場所を入れ替えることはしない。
- (6) 試合球として男子は 2 号球、女子は 1 号球とし、モルテンとミカサを使用する。奇数試合をモルテン、偶数試合をミカサとする。  
ボールの空気圧は審判員が決定する。(第 1 試合前に測定する。天候や気温などに応じて、試合の直前に再度変更することがある。)
- (7) 試合開始時と試合終了時のあいさつの仕方は以下のようにする。  
〈開始時〉ベンチからそのまま両チーム平行移動して(センターラインに垂直)コート中央まで移動し、正面にあいさつした後、反転して逆サイドに一礼する。  
〈終了時〉開始時と同じように礼をする。代表者 1 名のみ相手ベンチへ移動し、相手チーム役員にあいさつをする。
- (8) レフリー及びテクニカルデレゲート(TD)、競技委員長が違反の内容によって、出場停止もしくはそれ以上の処分が必要であると判断した場合には裁定委員会を開催する。委員は専門部長、競技委員長、各地区専門委員長、審判長とする。なお、必要に応じて関係者を同席させる。
- (9) 松やに、松やにスプレーは使用禁止。両面テープのみ使用可とする。つめを切っておく。
- (10) ボールを使つてのウォーミングアップは、ハーフタイム時か該当試合直前の 10 分間でコートを使つて行う。それ以外の時間と場所でボールを使つてのアップは認めない。

○選手登録・役員・ユニフォームについて

- (11) 登録されたチーム役員4名、選手15名がベンチ入りできる。トスの際に日本ハンドボール協会の選手登録証や指導者登録証を持参すること。また、ユニフォーム合わせをする際、ユニフォームを着ず、持参する。その際には、ユニフォームを床に置かないようにすること。
- (12) 役員は、オフィシャルが準備したカードを首から下げること。チーム責任者は「A」。「B～D」については、顧問・部活動指導員・社会人コーチが務める。学校代表（校長・教頭）はチーム役員とは別に1名のみベンチに入ることができる。入る場合は当該試合の審判員に学校代表者が入ることを伝える。
- (13) 同一チームのプレーヤーは同一色のユニフォームを着用し、ゴールキーパーは区別されたものを着用すること。濃淡2種類以上のユニフォームを用意する。
- (14) コートプレーヤーがゴールキーパーを行う場合には、ゲームベストでも可とする。そのゲームベストはコートプレーヤーの時と同じ番号であり、ゴールキーパーと同色でなければならない。
- (15) メンバーの変更については、指定の用紙を監督者会議で提出することとする。また、ユニフォームの番号は、No. 1～No. 15 が望ましく、大会申込書の番号と同一であることが望ましい。ユニフォームはCP、GKともに濃淡のはっきり区別できる2着以上を用意すること。
- (16) アンダーシャツ、サイクリングパンツはユニフォームの大部分を占めている色で、チームで統一する。着用しない選手がいてもよい。アームスリーブやカーフスリーブについては、日本協会の示すものに準ずることが望ましい。ソックスについては色など統一されていなくてもよい。
- (17) 選手が出血した場合には、ゲームに参加できない。出血部位をしっかりと被い、止血処置を完了した時に入場できる。また、ユニフォームに血液が付着した場合には、血液を拭きとるか、審判の許可を得て登録No.以外のユニフォームまたは同じ色のゲームベストを着用して参加することができる。
- (18) ハチマキは結び目から先を短くする。長い髪の毛は危険のないように結ぶ。また、金属・プラスチック製のピン類は着用しない。選手のプロミスリングは、外すかリストバンドでおおう。
- (19) 靴は、上下履きの区別をしっかりとる。ポイントシューズは禁止とする。

○ベンチについて

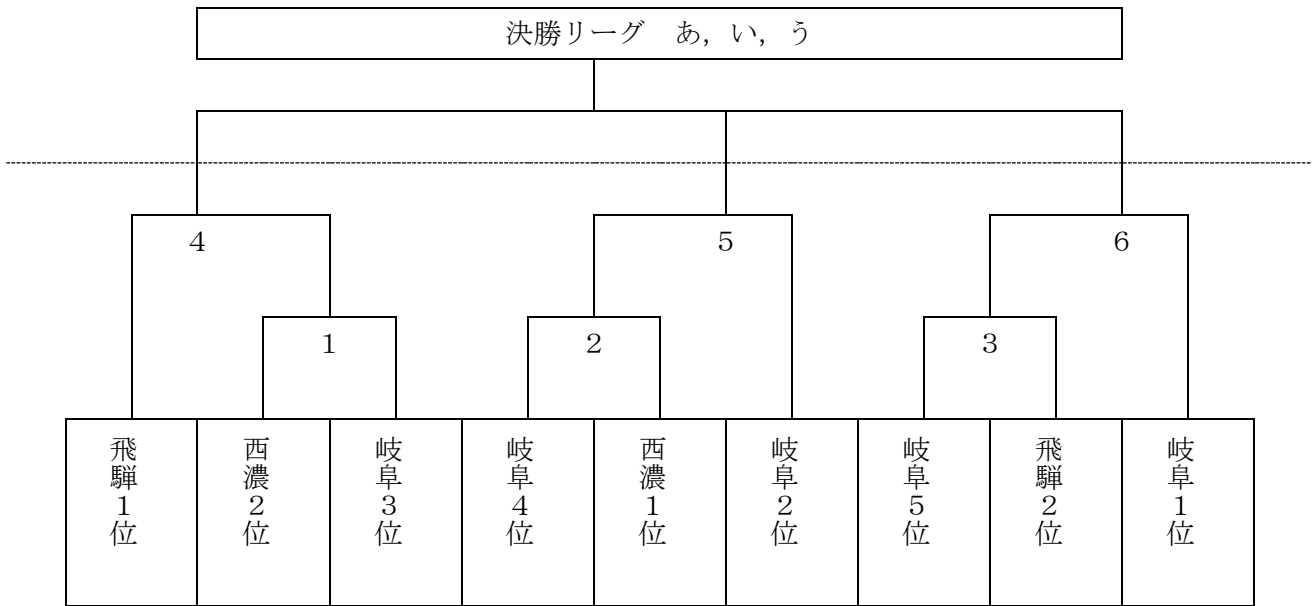
- (20) ベンチでは、監督、役員および選手は全員座っていること。ただし、指示を出す場合に限り監督・役員1名のみ立つことは認められる。
- (21) ボールはボールケース等に入れてベンチ後ろにおくこと。
- (22) ベンチ後ろのアップやボール使用は禁止とする。
- (23) ベンチや観客席でのメガホンの使用、鳴り物等による応援は禁止する。
- (24) 水分補給はコート内では禁止とし、指定された緑のシート上のみとする。濡らした場合はチームの責任で必ず拭き取ること。
- (25) 反則に対する称賛をしないこと。審判に対するアピール・暴言は禁止する。違反していると審判が判断した場合は、ベンチ警告が与えられる。
- (26) チーム監督及び役員は教育者であり、指導者である自覚と責任ある言動・服装に心がける。チーム監督及び役員は相手チームのコートプレーヤーと同色の上着を着用してベンチに入ることは認められない。
- (27) ベンチでの選手の安全・戦術的指示のため、パソコンやタブレット端末等の技術的器具の使用を認める。持ち運びができるもの(マイクروفオン、ヘッドフォン、イヤープース、スマートウォッチ、タブレットまたはノートパソコン等)の使用を認める。ただし承認されない機器を使ったり、機器を使った結果として不適切な言動があったりした場合(例：レフェリーの事実判定についての質問等の道具として使用すること等)は、使用を認めない。罰則により競技場を去ったプレーヤーやチーム役員との交信も許されない。

○ 大会運営にあたって

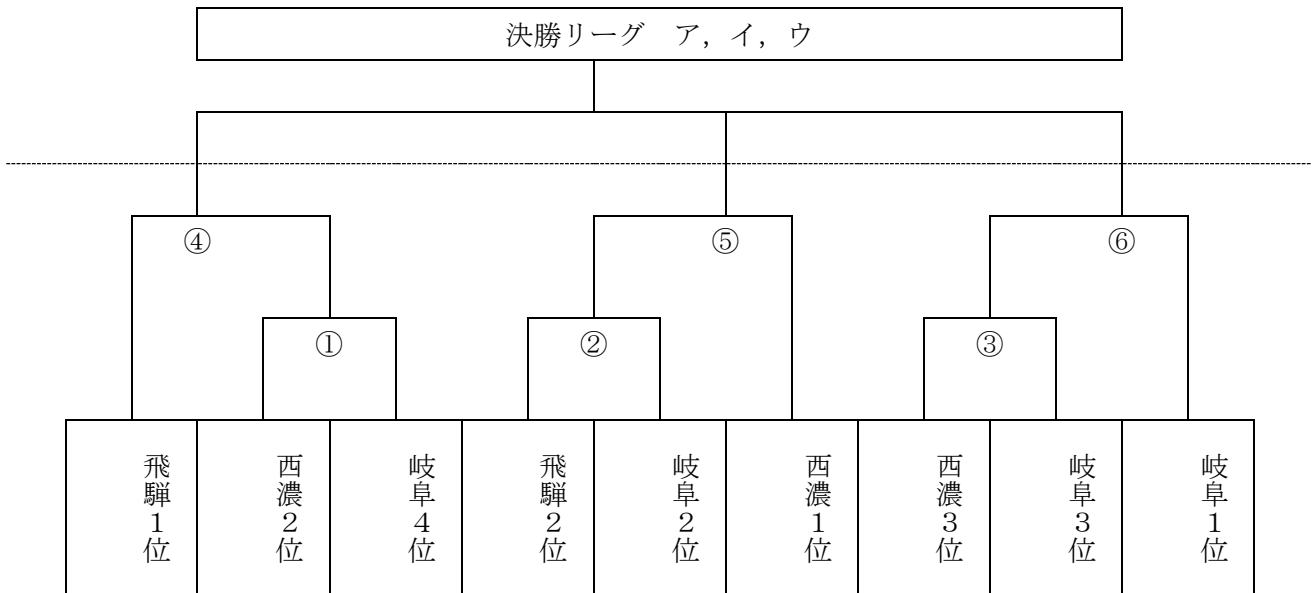
- (28) 部旗や横断幕は、ゴールの後ろに設置しない。競技場内の掲示にかからないようにする。
- (29) 試合終了後、試合をしたチームから1名ずつオフィシャル担当者として出す。大会補助役員と協力してオフィシャル業務を行う。決勝リーグについては、大会役員がTDやMOに入る。
- (30) 午前6時に開催市町村において気象警報が発表されている場合は、その日の大会を実施しない。また、警報の発表に伴って生じた競技実施に関わる対応は、専門部長や専門委員長などと協議を行って決める。
- (31) 大会に関わるすべての方のプライバシーの保護や肖像権及び個人情報保護の観点から、本人や保護者及び関係者の許可なくSNS等ネット上へ公開することを禁止する。
- (32) 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことをうけ、昨年度まで行っていた体調管理表や同意書などの提出は求めない。発熱などの症状がある場合は、大会会場への入場はしないこと。また、こまめな手洗いに心がける。

10 組み合わせ

男子



女子



11 競技日程

7月29日(土) 大会1日目

時 間	北	南
8:00~	開場	
8:15~ 8:45	審判会議	
8:15~ 8:45	第1試合アップ	
8:50~ 9:20	第2試合アップ	
8:50~ 9:20	監督者会議 決勝リーグ組み合わせ抽選	
9:30~10:30	男子1	女子①
10:45~11:45	男子2	女子②
12:00~13:00	男子3	女子③
13:15~14:15	男子4	女子④
14:30~15:30	男子5	女子⑤
15:45~16:45	男子6	女子⑥
16:50~	1面へ張替え	

7月30日(日) 大会2日目

時 間	1面
8:00~	開場
8:15~8:50	アップ
9:00~10:00	女子 ア
10:15~11:15	男子 あ
11:30~12:30	女子 イ
12:45~13:45	男子 い
14:00~15:00	女子 ウ
15:15~16:15	男子 う
16:20~	表彰式
表彰式終了後	片付け

12 中体連県大会2日目決勝リーグの組み合わせについて

中体連県大会の2日目決勝リーグの組み合わせの決定を監督者会議において、抽選で行います。

抽選の実施方法は、下記の試合配置のパターンA~Fまでを男女別に抽選します。チームの配置は、トーナメント表の試合番号を基準にして決定します。抽選者は、大会会長に依頼します。

試合配置のパターン

パターン		A	B	C	D	E	F
トーナメント表 勝ち上がり枠	男子4 女子4	4、5	4、5	4、6	4、6	5、6	5、6
	男子5 女子5	4、6	5、6	4、5	5、6	4、5	4、6
	男子6 女子6	5、6	4、6	5、6	4、5	4、6	4、5

時 間		組み合わせ
8:00~ 8:55		
9:00~10:00	女子 ア	対
10:15~11:15	男子 あ	対
11:30~12:30	女子 イ	対
12:45~13:45	男子 い	対
14:00~15:00	女子 ウ	対
15:15~16:15	男子 う	対

### 13 その他

(1) 会場設営 7月28日(金) 14時から

担当者：岐阜・西濃地区・市専門委員長、岐阜・西濃地区から3名ずつ

\*県協会よりデジタイマーを借りるため、岐阜メモリアルセンターから運ぶ必要がある。

(2) 大会日程 及び 会場

【大会1日目】 令和5年7月29日(土) 予選トーナメント

会場 OKBぎふ清流アリーナ (2面)			
1	役員集合	7:50~	
2	審判会議	8:15~	<第一会議室>
3	監督会議	8:50~	<第一会議室> 2日目の抽選
4	競技開始	9:30~	
※予選トーナメント終了後 1面に張り替える。			

【大会2日目】 令和4年7月30日(日) 決勝リーグ

会場 OKBぎふ清流アリーナ (1面)			
1	役員集合	7:50~	
2	競技開始	9:00~	
3	閉会式	競技終了後	閉会式終了後、東海大会打ち合わせ

(3) 開閉会式について

開会式：開会式は行わない。

優勝旗、準優勝楯の返還は大会1日目に該当チームが本部に返還する。

R4年度 男子 優勝：高山市立中山中学校、準優勝：各務原市立中央中学校

女子 優勝：高山市立松倉中学校、準優勝：大垣市立江並中学校

閉会式：全チーム整列し、閉会式を行う。

①結果発表ならびに表彰 ②専門部長の話 ③諸連絡

(4) 問い合わせ 各務原市立中央中学校 望月 亮太

<勤務先> 各務原市立中央中学校 各務原市各務西町4-358-1

TEL (058) 389-3881 FAX (058) 389-3882

(5) 県大会に出場するチームは、「大会申し込み」に記入した選手一人につき1,000円を監督者会議のときに支払う。

(6) 県大会出場チームは、地区大会終了後すぐ申し込み書(校長印・代表者捺印)を各地区の専門委員長に提出すること。

(7) 県大会上位2チームは、8月7日(月)・8日(火)に四日市総合体育館にて行われる東海大会に岐阜県代表として出場する。東海大会の組み合わせは、東海プログラム編成会議(日時未定)で決定する予定。また、県大会2日目のリーグ戦に出場するチームは、東海大会の申し込み書に校長印・代表者印を押して提出すること。